

## 発達障害児者の認知的クリエイティビティの評価と支援

企画者・司会者 岡崎慎治（筑波大学人間系）  
話題提供者 岡崎慎治（筑波大学人間系）  
大柳俊夫（札幌医科大学）  
奥畑志帆（佛教大学）  
指定討論者 別府さおり（東京成徳大学）  
井上知洋（香港中文大学）

KEY WORDS: プランニング 認知的クリエイティビティ 問題解決

### 【企画趣旨】

近年、発達障害への興味関心の発展から、発達障害における種々の特性を困難としてのみとらえるのではなく、強みやアドバンテージとしてとらえる視点が提唱されつつある。その中で、認知特性、認知処理のプロセスの独特さを扱う観点として、前頭葉機能として知られる心理機能としてのプランニングが挙げられる。従来の多くの研究や実践において、発達障害児者におけるプランニングの困難やその支援の必要性が指摘されてきた。一方、困難としてとらえられがちなプランニングの独特さは、視点を変えると独創性や創造性として評価できる点とみることもできる。このうち、創造性（クリエイティビティ）は、芸術やひらめきといった要素、神秘的アプローチ・伝記的アプローチとしてとらえられがちである一方、近年では神経科学や認知科学的アプローチにおいて高次神経活動の一要素として扱われてきている（阿部, 2019; Khalil, Godde, and Karim (2019)）。

そのような動向を踏まえ、ここでは創造性に関わる種々の要素のうち認知的要素に着目した認知的クリエイティビティというとらえ方に立ち、発達障害児者へのその適切な評価と、評価に基づく支援を検討したいと考える。

本シンポジウムでは、このような観点から発達障害における認知特性の強みとしての認知的クリエイティビティについて整理するとともに、その評価や促進のための支援にかかわる先行研究をふまえ、今後の方向性について検討する機会としたい。

具体的には、認知的クリエイティビティの評価と、評価に基づき促進場面における行動と生体反応計測を通した客観的評価の提案とともに、評価に基づく支援として、指導者と、発達障害のある子どもとの相互作用を通した、認知的クリエイティビティ促進の支援方法を検討することを目的とする。

### 【話題提供者の趣旨】

企画者ならびに司会者を兼ねる岡崎からは、認知的クリエイティビティに関する概念整理と、研究の方向性について先行研究と一部進行中の研究紹介を行いたい。ここでは、自閉スペクトラム症（ASD）や注意欠如多動症（ADHD）といった、発達障害児・者の認知特性を認知的クリエイティビティの強みととらえたいいくつかの研究知見を紹介する。加えて、認知的クリエイティビティの評価方法、そして促進的な支援の方向についても、研究知見の紹介ならびに予備的な検討の紹介を行う予定である。

これらを通して、発達障害児との相互活動を通して彼らの認知的クリエイティビティを高め、ポテンシャルを最大限引き出しうる評価の方法と、評価に基づく支援の方法を検討する。

奥畑志帆氏からは、情報の符号化様式に関わる情報処理過程を脳波の周波数解析から明らかにした知見をふまえ、認知的クリエイティビティの評価への生体反応計測の意義について、先行研究のレビューを中心に話題提供をいただく予定である。

大柳俊夫氏からは、認知的クリエイティビティの評価課題として、かつ促進場面において媒介課題として用いる、コンピュータ上で実施する問題解決課題（Crack-the-Code）について、作成経緯と現状の関連トピックについて話題提供をいただく予定である。

### 【指定討論者の趣旨】

上記話題提供を受けての指定討論については、認知的クリエイティビティの評価ならびに促進の媒介となる課題についての研究知見を蓄積されてきている別府さおり氏と、井上知洋氏のそれぞれから意見をいただき、話題提供者との議論を通して発達障害における認知的クリエイティビティと、その評価、促進のための支援の方向性について考える機会としたい。

別府さおり氏には、発達障害児者のプランニングの評価と支援、問題解決課題（Crack-the-Code）に関する研究知見を蓄積されてきていることを踏まえ、それらの知見、ならびに関連する言語的指標や行動指標の評価について、先行研究のレビューをふまえ、認知的クリエイティビティの評価と支援の方向性について討論をいただく予定である。

井上知洋氏には、プランニングおよびこれに関連する種々の認知機能とその発達に関する研究知見に多く関与されてきていることをふまえ、読み能力や読み能力に関連する要因についての先行研究のレビューを含めた、認知的クリエイティビティの評価と支援の方向性について討論をいただく予定である。

### （文献）

阿部慶賀（2019）創造性はどこからくるか：潜在処理,外的資源,身体性から考える（越境する認知科学）．共立出版．

Khalil, R., Godde, B., and Karim, A.A. (2019) The Link Between Creativity, Cognition, and Creative Drives and Underlying Neural Mechanisms. *Frontiers in Neural Circuits*, Vol 13, Article 18. doi: 10.3389/fncir.2019.00018

本研究は科学研究費補助金（20K20808）の助成を受けている。

(OKAZAKI Shinji, OHYANAGI Toshio, OKUHATA Shiho, BEPPU Saori, INOUE Tomohiro)